



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

町独自の奨学金制度の考えは

町長 施策として必要であればと思っている

介護職員処遇改善および労働環境改善

質問

あ

けぼの園では介護に従事する職員が充足しているとはいえない状況が続いています。充足が遅れることで入所者の制限などの事態もあり得ます。

さらに、労働環境が悪化することで退職者が出るといふ悪循環が懸念されます。賃金を含む処遇改善および労働環境改善に取り組む必要があります。国も、介護職員処遇改善支援補助金の施策を打ち出しましたが町の申請対応状況を伺います。

町長 あけぼの園では、法に定められた必要な職員数は充たしているものの、代替職員など円滑な運営に必要な職員が不足している状況です。

会計年度任用職員については、単年度の雇用形態になつていくことから賃金が低い状況となっております。これらの状況を踏まえ、会

計年度任用職員の時間単価を1%から3%程度引き上げることにしており、国の特例交付金の申請を行うよう指示しました。

また、山びこ学園、町立病院については、町独自の施策として実施します。

再質問 介護職、生活指導員など人材不足は施設の維持管理に影響してきます。

町直営のあけぼの園、山びこ学園、この施設を将来的展望としてどのように町長は考えているのか伺います。

町長 福祉施設については、専門業者にもお願いし、幅広く求人体制を作っていきます。現状2施設は町が直営で運営しているので、これを維持できるように体制をとっていきます。

しかし、他の自治体の施設では入所定員数を減らすことや、民間委託をしているところも見受けられます。今後はそういう検討、検証もしていきながら情報収集をしていきます。

あけぼの園長 業務改革については、ICT化を進めることで軽減を図っています。

本年度以降、各種施設内にセンサーなどの設置、職員の腰痛を防ぐために、体の動きを支援する機械などの導入により、労務にかかる負担を軽減していこうと考えています。

再質問

人 への投資という目的で福祉を学ぶため専門学校、大学を目指す地元

の高校生に、町独自の奨学金制度を検討する考えはありますか。

町長 地元の高校からも、そのような声があります。そのような声がありまして、広く加味して、施策として必要であればと思っています。

歯科診療所不在の状況

質問

歯科医院が閉院したことにより、町民、特に車などの移動手段を持たない高齢者から非常に不便であ

るとの声があります。歯科医療も医療体制の充実の面で重要です。

この状況を町長はどのように認識されているのか伺います。

町長 町外へ通院するなど不便さや、経済面からの御心痛に対し、憂慮すべきであると承知しています。

今後、歯科医師の派遣や、歯科医療機関の開業の動きを見計らいながら、その支援策などを含め、取り組んでいきます。

再質問

町立病院のスペースで町外の歯科医に来てもらい、定期的な検診と簡単な治療はできないのでしょうか。

町長 児童生徒への歯科検診については名寄市の開業歯科医院より医師を迎えることとしています。仮に歯科診療所を設置するとしても、他の施設では保健所のハードルも高いところがあり、簡単にいかないということをご理解願います。